

第17回「不安とうつのリエゾン治療研究会」のご案内（通算26回）

日常診療において、患者さんの訴える症状に見合う身体的所見が見つからないという症例に遭遇する事はさほど珍しい事ではありません。このようなケースでは、訴えの内容も一定しない事が多く、しばしば医療者側が対応に苦慮する事があると思われまます。精神科医と一般診療医とが共同して両分野にまたがる患者さんの診療にあたることは「リエゾン精神医学」と呼ばれていますが、このようなケースの中には「不安障害」「うつ病」「うつ状態」でありながら身体症状、「不定愁訴」を主訴として、身体疾患を専門とする診療科を受診されている人も多いものと考えられています。このようなケースの治療について、精神科医とプライマリケアを担っておられる身体疾患の医師と一緒に検討できる研究会が「不安とうつのリエゾン治療研究会」で、今回で通算26回を迎えることとなりました。

この度の症例提示は、たるかわクリニック 院長 樽川 由里子 先生 からご発表頂きます。
また特別講演としては、山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学分野 教授 渡邊 義文 先生にご講演頂きます。

多数の先生方のお集まりを希望してご案内申し上げます。

不安とうつのリエゾン治療研究会
代表幹事
福島県立医科大学 神経精神医学講座
教授 矢部 博興

日 時 : 平成26年12月11日(木) 18:45~21:00

場 所 : ホテル ハマツ 郡山市虎丸町3-18 TEL: 024-935-1111

18:45~ 「抗うつ薬の最新情報」

Meiji Seika ファルマ(株) SSG

19:00~ 《症例報告》

座長 公益財団法人 星ヶ丘病院 院長 沼田 吉彦先生

「治療中に精神科、心療内科にコンサルトした症例」

たるかわクリニック 院長 樽川 由里子先生

(ディスカッサント)

コスモス通り心身医療クリニック 院長 圓口 博史 先生
福島県発達障害者支援センター センター長 増子 博文 先生

20:00~ 《特別講演》

座長 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座 教授 矢部 博興 先生

「うつ状態の診断と治療」

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学分野

教授 渡邊 義文 先生

尚、軽食をご用意しております。また会費を500円徴収させていただきます。

※日本病院薬剤師会生涯研修認定制度1単位が取得できます(予定)。

共 催 不安とうつのリエゾン治療研究会
福島県病院薬剤師会

Meiji Seika ファルマ株式会社

【連絡先】024-932-5025・080-6718-5404